

【主題名】 勤労の意義

【教材名】 あるレジ打ちの女性

(日本文教出版 3年)

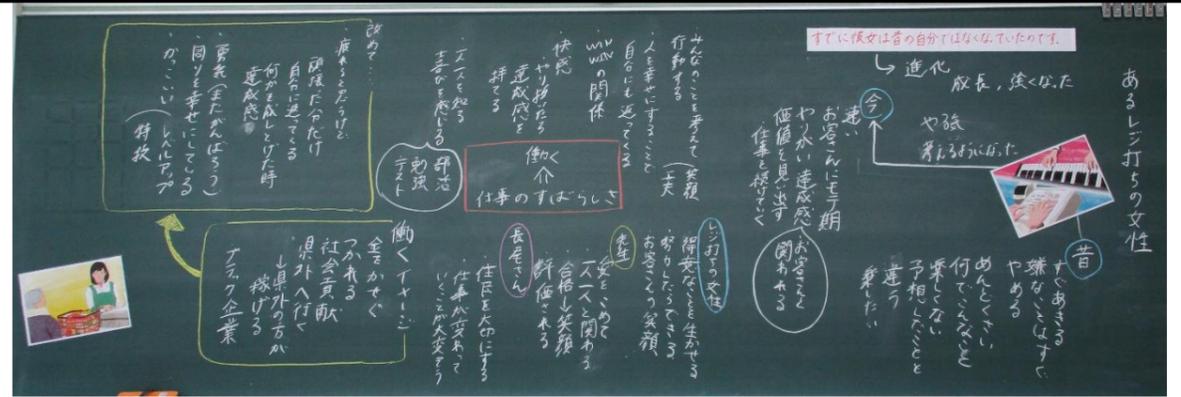


発行
令和4年3月
中部教育事務所



授業者 西田 憲生 教諭 (日高村立日高中学校)

内容項目 C-13 【 勤労 】



～教材分析～

1. 何を深めるのか
何を深めるのか

ゴールに引き出したい生徒の姿を具体的に描ききる。
気付かせたいことは何か？ 考えさせたいことは何か？

指導の要点

実態を踏まえ、生徒と何を考えたいのか 指導の意図を持つ

- 働くことの意義（社会の一員としての役割を果たし社会に貢献する）について考えさせる。
- 働くことの喜びを感じ、生きがいを持って働き、人生を充実させようとする態度を養う。

引き出したい生徒の考え 生徒の言葉でゴールを明確に描く

- どんな仕事も人の役に立っている。
- 人の役に立つことは自分の喜びになり、やりがいや生きがいになる。
- 働くことの素晴らしさは、大人になったら味わえる特別なものではなく今の自分の生き方ともつながっている。
- 何事にも真面目に一生懸命取り組み、人の役に立つために行動したい。

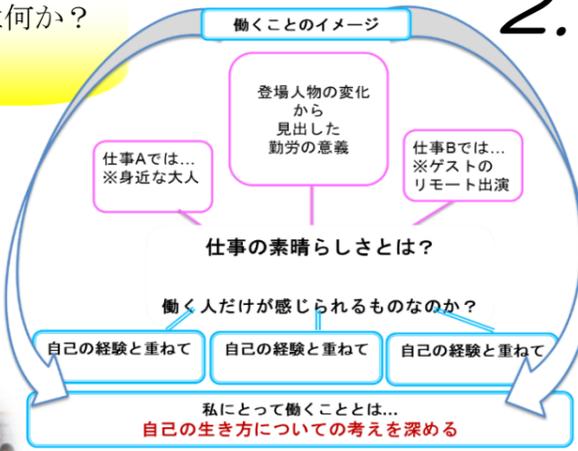
ねらい

レジ打ちの女性の勤労に対する考え方の変化について考えることを通し、勤労を通して自分の生きがいや社会とのつながりを感じ、充実した生き方を追求し実現しようとする態度を養う。

発問構成と指導の工夫

教材レベル から 道徳的価値レベル へと問いを重ねる過程を重視する

	学習活動と主な発問 (○)、補助発問・問い返し (◆)、留意事項 (-)
導入	○働くことにどんなイメージを持っていますか。
展開	○「昔の自分ではなくなっていたのです」とはどういうことか。
	◆昔と今の主人公の思いにどのような違いがあるのか。
	○仕事の素晴らしさとはなんだろうか。
終末	○あらためて、働くことについてどう思いますか。
	○ゲストティーチャーからのメッセージを聞く。



地域の大人からのエール 職業体験へのつながり

ゲストティーチャーより 一役場からリモート

働く素晴らしさには私の中ではいくつも挙げられますが、共通するのは嬉しいという気持ちです。仕事というのは極論かもしれませんが、信頼や社会的責任が多くあり、その代わりにお金が支払われると思います。

自分の培ってきた経験が出せるという瞬間は非常にやりがいがありました。そのとき人生で無駄なものはないと感じました。

学生のうちからいっぱい「うれしい」という気持ちを働くことや活動することから出してほしいと思います。その気持ちが自分を幸せにし、周りを幸せにできるということを感じ取ってほしいと思います。

2. どう深めるのか
どう深めるのか

～主題に迫る授業構想～

- 子どもの意識は必然性を伴って流れるか？
- 生徒の感じ方や考え方の多様性は広がるか？

T: いろいろな仕事にとって働く素晴らしさにどんな共通点がある？

C: みんなのことを考えて行動するところ。

C: 何かをすることで相手を幸せにしたり、相手を幸せにすることで自分にも返ってきたりする

C: 感謝の気持ちや笑顔が共通。人を笑顔にすること。

C: やり抜いたら、自分に達成感や自信を持てる。

T: みんなが見つけた働くことのすばらしさって、大人だけが感じられるものなの？

C: 働かなくても、そういう気持ちは生まれる。

T: 大人だけでなくみんなも感じるがあったんや。どんな場面で感じる？

C: 部活とか...



3. 生徒の姿から指導の工夫の実効性を検証する

	指導の工夫	評価の視点
自分自身との関わり	働くことの意義と自分たちの経験との共通点に気付かせる	働くことを今の自分とつなげて考えている姿が見られたか
	働くことに対する考えの変容を板書に可視化する	
多面的・多角的	今と昔の女性の姿を比較する	レジ打ちの女性の気持ちやゲストティーチャーの仕事に対する思いから勤労の意義についての考えを広げている姿が見られたか
	レジ打ち以外の仕事の立場から働くことの意義について考えさせる	

◆ 働くことについてどう思いますか ◆

- 働くことはしんどそうやし辛そうやけど、やりきってみたい。
- 働くのは疲れるけど、頑張った分だけ自分に返ってくる。何かを成し遂げたときに達成感を味わえる。難しいほど、やりきったら達成感は大きい。
- 相手が嬉しそうにしてくれたら、またその仕事をがんばろうと自分に勇気が湧いてくる。
- 働くことは周りを幸せにし、自分自身を幸せにしている。
- 働くことはかっこいい。自分のレベルアップにもつながる。

～道徳的な問題を主体的・対話的に探究していく (=主題に迫る) 授業づくりをめざして～